

原 著

栃木県におけるブルータングウイルスの流行と
検出遺伝子の分子系統樹解析岩根浄子[†] 深井克彦 田島和彦

栃木県県央家畜保健衛生所（〒321-0905 宇都宮市平出工業団地6-8）

（2008年3月14日受付・2008年10月14日受理）

要 約

2005年、栃木県でブルータングウイルス（BTV）が流行した。牛の抗体調査の結果、1994年の県内初の流行確認以降最も早く広範囲な流行であった。2001年、2003年、2005年の県内流行BTVにおける血清型特異中和抗原VP2をコードするRNA分節2、内殻コア蛋白VP3をコードするRNA分節3および非構造蛋白質NS3/NS3AをコードするRNA分節10の分子系統樹解析を実施した。その結果、RNA分節3および10の解析から、国内株はアジア・オーストラリア株の一部に近縁で、独立した固有のグループを形成することが判明した。いっぽう、RNA分節2の解析から少なくとも2001年以降の県内流行は血清型21によるものと確認された。以上から、元来近隣諸国から侵入したBTVの一部が国内に定着し流行を繰り返している可能性が示唆された。

——キーワード：ブルータングウイルス，分子系統樹解析，RNA分節2，RNA分節3，RNA分節10.

----- 日獣会誌 62, 451～456 (2009)

[†] 連絡責任者：岩根浄子（栃木県県北食肉衛生検査所）

〒324-0063 大田原市町島66-2 ☎0287-22-5565 FAX0287-22-8923 E-mail : iwanek01@pref.tochigi.lg.jp